

1. 活動の概要

6月11日(水)、大田市立仁摩小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

はじめに、埋蔵文化財調査センターのスタッフが、仁摩小学校周辺の数多くの遺跡について説明しました。縄文から古墳時代までの仁摩地域の歴史と文化財に関する講座を生徒達はとても興味深く聴いていました。多くの遺物を用いて説明することで、授業で学んだ歴史についてより具体的にイメージすることができていたようです。また、実際に玉やガラス玉の本物を目にしたことで、多くの子どもたちは、その美しさに感動し、歴史の重みを体感できたようでした。質疑の時間を設けたところ、多くの子どもたちから積極的に質問が出されました。かなり本質を突いた質問も出され、講義を熱心に聴いていたことがうかがえました。

次に、世界遺産室のスタッフがお金の歴史についてワークシートに沿って説明を行い、和同開珎作りの体験を行いました。スタッフの試作で鑄型の押さえが甘く失敗しましたが、子ども達は上手に作ることができました。子どもたちにとっても楽しい時間になったようです。また、和同開珎が固まる時間を利用して、世界遺産の石見銀山と古丁銀について、パンフレットで紹介をしました。体験後にも質疑の時間を設けました。こちらでも多くの質問が出され、あらゆることに非常に熱心な子どもたちで、進めやすい雰囲気の良い学校だったと思います。

2. 活動の様子

① 仁摩小学校周辺の遺跡解説講座



仁摩町内で発掘された遺物の紹介



実際の遺物を見ている



発掘された玉を初めて見ました



たくさんの質問が出されました

② 和同開珎作り体験



和同開珎とお金の歴史の話を聞いています



溶けた金属を鋳型に流し込んでいます



和同開珎作りに挑戦です



石見銀山の丁銀についても知りました

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- ・発掘調査で遺物がたくさん見つかったことやたくさんのお宝があることが分かってよかった。
- ・本物の土器や玉を見たこと、本物を見ることができてよかった。
- ・発掘した土器を島根県に寄附してたくさんの人に役立てることをしたいです。
- ・九州の物がなぜあるのかははっきりした答えで知りたいと思った。

2) 担任の先生から…

- ・仁摩という自分たちの地域の発掘調査の話を知ることができ、子どもたちは大変驚いていました。そして、自分たちの地域のすごさやすばらしさを改めて感じる事ができたと思います。
- ・地域の遺跡・古墳について学ぶことができ自分たちの住んでいる地域や歴史を身近に感じることができました。講座と体験がセットでよかったです。
- ・このような先人の生活の積み重ねの上に今の私たちの生活が成り立っているということを実感できた

3) 埋蔵文化財調査センター・世界遺産室から

最初の講義では、身近な地域の歴史や文化に興味を持った生徒さんが多かったように思います。実際に本物の遺物を見て、触れることができ、生徒のみなさんは多くのことを感じとっていたかと思います。質問も非常に多く熱心でした。和同開珎作りの体験も積極的で、みなさん楽しんで行っていて非常によかったと思います。